

- ▶ ブラジルの4-6月期の実質GDP成長率は前年同期比+1.0%と、前期から鈍化もプラス成長を維持。
- ▶ 10月に実施される大統領選は、支持率トップのルラ氏が出馬できない可能性が高い中、混戦が予想される。

## ブラジルの4-6月期の実質GDP成長率は前年同期比+1.0%と、前期から鈍化もプラス成長を維持

8月31日に公表されたブラジルの4-6月期実質GDP成長率は前年同期比+1.0%と、1-3月期の同+1.2%からやや鈍化しましたが、プラス成長を維持しました（図表1）。また、前期比（季節調整済）は+0.2%と、1-3月期の同+0.1%から幾分加速しました。

支出項目別の内訳をみると、5月下旬に発生したトラック運転手らによるストライキの影響で物流が滞り、物価が上昇したことなどによって、家計消費の伸びが鈍化したほか、輸出がマイナス成長となりました。しかし、総固定資本形成は3四半期連続のプラス成長となったほか、政府支出も2016年10-12月期以来のプラス成長となりました。

ブラジルの大統領選の先行き不透明感などから、ブラジルの景況感は伸び悩んでいます。しかし、ブラジル中銀の金融緩和による下支えなどから、内需を中心にブラジル景気は緩やかに回復していくものとみられます。

## 10月に実施される大統領選は、支持率トップのルラ氏が出馬できない可能性が高い中、混戦が予想される

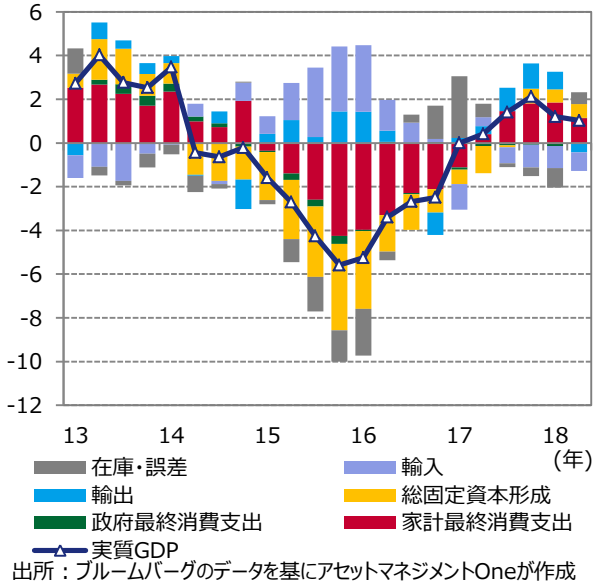
中長期的なブラジル経済の回復には、社会保障制度改革など構造改革が不可欠と思われませんが、その先行きをみる上で10月に実施される大統領選が注目されます。ただ、支持率トップのルラ氏が出馬できない可能性が高い中、混戦が予想されます。

汚職で有罪判決を受け収監されている、元ブラジル大統領のルラ氏について、高等選挙裁判所は出馬を認めない決定をしました。今後、ルラ氏は抗告するとみられています。出馬を認められる可能性は低いと考えられます。

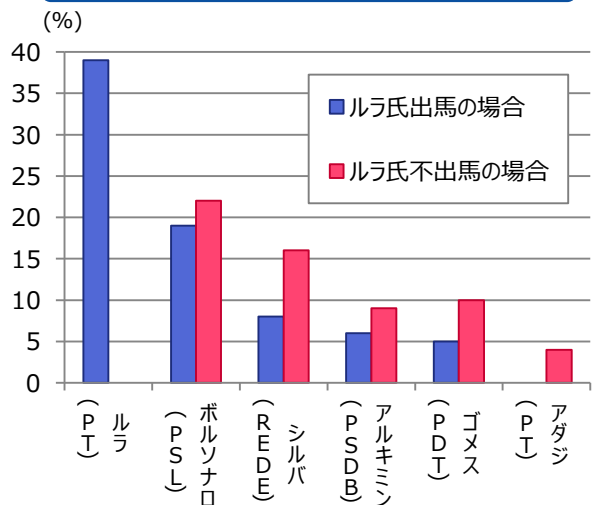
8月22日公表の世論調査によると、ルラ氏を除いた中で、最も支持率が高いのは、軍人出身で右派のボルソナロ下院議員ですが、他の候補者との差はわずかなものとなっています（図表2）。そのため、大統領選は10月28日の決選投票にもつれ込む可能性が高いとみられます。

図表1 実質GDPと寄与度

2013年1-3月期～2018年4-6月期：四半期（前年同期比、%）



図表2 大統領選候補者の支持率



出所：各種報道等を基にアセットマネジメントOne が作成  
 (注1) 8月22日公表のデータを使用  
 (注2) アゼイトーロ氏はルラ氏が出馬できない場合、労働党 (PT) の候補になるとみられる

※上記図表などは、将来の経済、市況、その他の投資環境にかかる動向などを示唆、保証するものではありません。

※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。



アセットマネジメントOne

商号等 / アセットマネジメントOne株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第324号  
 加入協会 / 一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会

各候補者の社会保障制度改革など構造改革への取り組み姿勢は様々であり、選挙結果によって、改革の道筋が大きく変わることが見込まれます。ルラ氏はテメル現政権が進めてきた改革を白紙に戻すとしており、構造改革には否定的です。ボルソナロ氏も、公務員年金の受給開始年齢の引き上げなどから徐々に取り組むとしており、積極的ではないとみられます。一方で、テメル現政権の構造改革の継続姿勢を示唆している前サンパウロ州知事のアルキミン氏ですが、社会保障制度改革は国民の痛みを伴う改革とあって、有権者からの支持は低位にとどまっています。

10月7日の第一回投票に向け、8月末から始まったテレビなどでの政見放送によって、各候補者の支持率がどのように推移していくかが注目されます。

(調査グループ 青木一馬 13時執筆)

# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（REIT）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合があるため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

#### ■ その他費用・手数料

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。
2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。